

# 実地研修報告書

2010 年 10 月 12 日

一般財団法人海外産業人材育成協会 理事長 殿

受入企業 **研修マシナリー株式会社**  
 受入責任者 **井上 祐紀**  
 所属部署 **人事部**  
 役職 **部長**

下記研修生の実地研修結果について以下のとおりご報告致します。

研修生番号	10△△×××	実地研修予定期間	2010 年 5 月 26 日～	2010 年 10 月 8 日	( 136 日間)
研修生氏名	SOMPON	実地研修期間	2010 年 5 月 26 日～	2010 年 10 月 8 日	( 136 日間)

## 1. AOTS研修コースの結果

期間 (実績)	研修項目 (実績)	研修内容 (実績)	達成目標・水準 (実績)	一般研修は以下の習得を目的としています。実地研修中を通して研修生の能力・知識に満足していますか。					実地研修中の研修生の日本語能力に満足されましたか。																
				満足	やや満足	普通	やや不満	不満	満足	やや満足	普通	やや不満	不満												
2010.4.7 ~ 2010.5.25	一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS) の 集団研修コース 212 時間	● 一般研修 (標準非実務研修時間数) コース名 J6W (212時間)  ○ 管理研修 コース名 ( ) (右の質問にご回答いただく必要はありません。)	● 一般研修: 実地研修 (企業内個別研修) への円滑な導入を可能とする。  ○ 管理研修: 経営管理者にとって必要な知識や技術を習得する。  (総合) 一般研修の目標の達成度 (実地研修への円滑な導入状況) に満足していますか。	a. 生活力 (買い物、食生活等、独りで生活する能力)	5	●	4	○	3	○	2	○	1	○	a. 研修上必要な会話力	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○
b. 自己管理能力 (健康、時間等を管理する能力)				5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	b. 生活上必要な会話力	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	
				c. 異文化適応力 (異文化社会に適應するための能力)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	c. 聴解力	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○
				d. 文化・社会理解 (日本の文化や社会の特徴の理解)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	d. 文法力	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○
				e. 日本企業理解 (日本経済や日本企業の特徴の理解)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	e. 文字力 (ひらがな)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○
				f. 実地研修理解 (実地研修の目的や目標、方法の理解)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	f. 文字力 (カタカナ)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○
				g. コミュニケーション能力 (指導員等とのコミュニケーション能力)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	g. 文字力 (漢字)	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○
					5	○	4	●	3	○	2	○	1	○	AOTS日本語研修に対する満足度	5	○	4	●	3	○	2	○	1	○

## 2. 実地研修の結果

期間 (実績)	研修項目 (実績)	研修内容 (実績)	達成目標・水準 (実績)	計画からの変更の有無・内容	目標達成度	目標達成度及び所見	実施言語
2010.5.26 ~ 2010.6.13	導入教育 製品基礎教育	・会社概要、生活上の注意 ・安全教育 ・自社製品知識、品質のシステム ・リアクション、ショックアブソーバー (以下、「製品」) に関わる基礎技術について	・実地研修環境への導入 (外国人登録、社内連絡網など) ・当社製品に関する知識向上 ・取扱製品に関わる製造技術の理解	(内容) ○ あり ● なし	100 % (0~100)	(所見) 研修生が非常に意欲的に研修に取り組んだため、研修内容を十分に習得することができた。	日本語
2010.6.14 ~ 2010.6.24	要素技術の基本 製品の製造、機能	・製品の構造・機能・性能 ・部品の材質について習得	・実際の作業状況を確認し、設計を行う上での枠組みがイメージできる。 ・材料の性質・特性を理解し、ユーザー環境に適合した設計への意識付けを行う。	(内容) ○ あり ● なし	78 % (0~100)	(所見) 製品設計のために必要な要素技術を問題なく習得することができた。	日本語 タイ語
2010.6.25 ~ 2010.8.12	リアクション、 ショックアブソーバーの 基本設計	・CADの操作方法 ・設計製図研修…製図、CAD ・製品の仕様書、設計基準、公的規格 ・設計の出図業務の習得	・当社基準への習熟 ・CAD: 2~3年の実務経験者レベルまで向上 ・設計~製造部門への情報の流れを理解	(内容) ● あり ○ なし	65 % (0~100)	(所見) CADに関する知識が不足していたため、CADの操作方法についての研修を加えた。	日本語 タイ語
2010.8.13 ~ 2010.9.22	製品設計の試作、検証、評価	・設計製図研修…製図、CAD ・特殊な仕様の設計について ・改造に伴う設計の試作と検証及び 評価方法 ・見積り方法	・事例を用いて既製品以外の対応方法を理解 ・当社基準への理解、初歩的な仕様変更への対応力を習得	(内容) ● あり ○ なし	85 % (0~100)	(所見) 前期間で十分に習得できなかった研修内容についても、この期間で習得することができた。また、製品設計の試作、検証、評価についても幅広く理解を深め、費用見積についても十分な見識を身に付けた。	日本語 タイ語
2010.9.23 ~ 2010.10.8	品質管理の基本 関連工場の見学 まとめ (発表会準備)	・検査方法の習得 ・問題解決の手法 ・得意先、協力先工場の見学 ・成果発表会	・当社基準への習熟 ・派遣元での判断基準、帰国後の連携体系の確立 ・ユーザーへの紹介、帰国後の動機付け ・役員へのプレゼンテーション	(内容) ○ あり ● なし	70 % (0~100)	(所見) 製品設計に必要な管理技術はある程度のレベルまでは習得できたが、部下への指導力については、やや物足りないところがある。	日本語 タイ語

## 3. 実地研修の総合評価

研修目的	研修目的達成度及び所見	研修期間	研修生の取組み姿勢	AOTSに対するご意見・ご要望 (自由にお書きください。)
当社製品 (リアクション、ショックアブソーバー) の一般知識習得及び製品設計に必要な技術の習得を通じ本国二一スに対応した製品設計ができるようにする。	研修目的達成度及び所見 (所見) 85 % (0~100) 当社製品の一般知識及び製品設計に必要な技術は概ね身に付けた。今後はそれを活用して本国二一スに対応した製品設計ができるようになるためには、さらに一定期間の経験が必要となると思われる。	5 ○ 長すぎる 4 ○ 少し長い 3 ● 適当 2 ○ 少し短い 1 ○ 短すぎる	5 ○ とても熱心 4 ● 熱心 3 ○ 普通 2 ○ もう少し努力が必要 1 ○ 問題があった	(受入企業ご記入)